

資料5 中川水系流域治水プロジェクト
更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、中川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成13年6月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。

位置図



凡例

- 浸水範囲 (計画規模1/50)
- 河川
- 流域境
- 市町村境



・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
 ・洪水浸水想定区域図の作成
 ・避難訓練への住民参加促進
 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

放水路整備

H13.6月
溢水状況

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・放水路整備 等【富山県】
- ・雨水貯留施設の整備 (開発行為における調整池など)【開発事業者】 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・滑川市】
- ・洪水浸水想定区域図の作成【富山県・滑川市】
- ・避難訓練への住民参加促進及び住民参加【滑川市・住民】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・滑川市】
- ・水防災教育 (出前講座の活用)、マイ・タイムラインの普及及び作成【富山県・滑川市・住民】
- ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・滑川市】
- ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
- ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】 等

要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援

説明会の様子

水位計・監視カメラの活用
河川状況等ライブカメラ情報

県HPに掲載
リアルタイムでの情報発信

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 中川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
【中期】流下能力不足解消のため、沖田川放水路整備等を実施する。
【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	沖田川の整備 (放水路整備 等)	富山県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 滑川市 住民			
	水位計・監視カメラの活用	富山県	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など </div>		

【事業費(R7年度以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 11.6億円※
沖田川の整備 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(放水路整備)		
事業・施策の名称	河川改修(放水路整備)		
実施場所	中川(沖田川)		

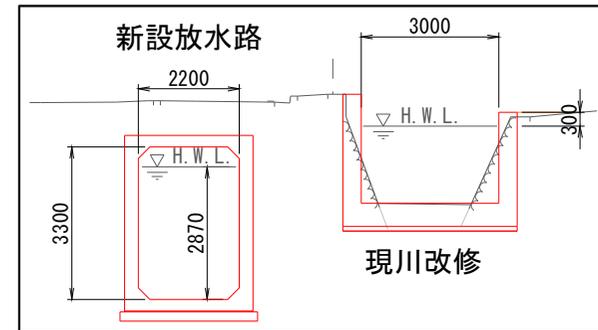
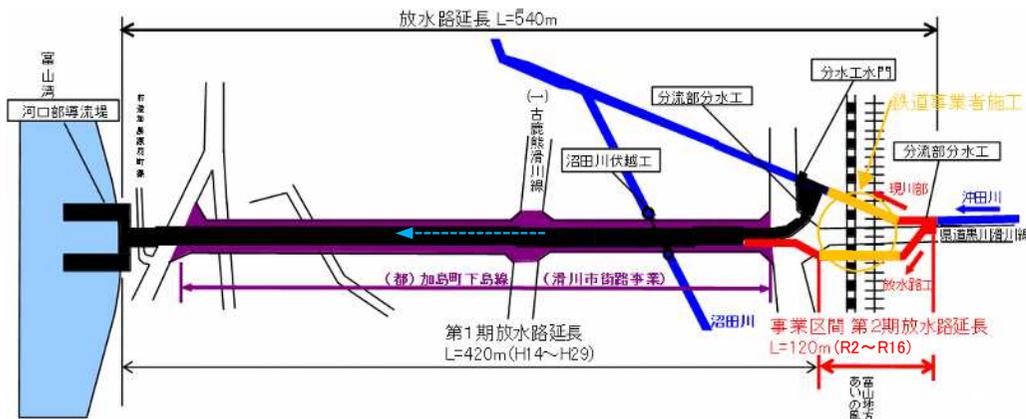
【対策概要】

中川水系沖田川は、滑川市の市街地を流れ、川幅が狭く流下能力が小さいため、たびたび浸水被害が発生しており、平成13年の豪雨では203戸の浸水被害が発生した。平成14年度に着手した沖田川放水路の整備については、河口から鉄道直下流までの第1期工事が平成29年3月に完成し、引き続き、鉄道横断部を含む第2期工事を行う。

【事業内容】

事業期間 : 平成14年～

内容 : 計画延長540m (放水路工、鉄道工事委託、用地補償)

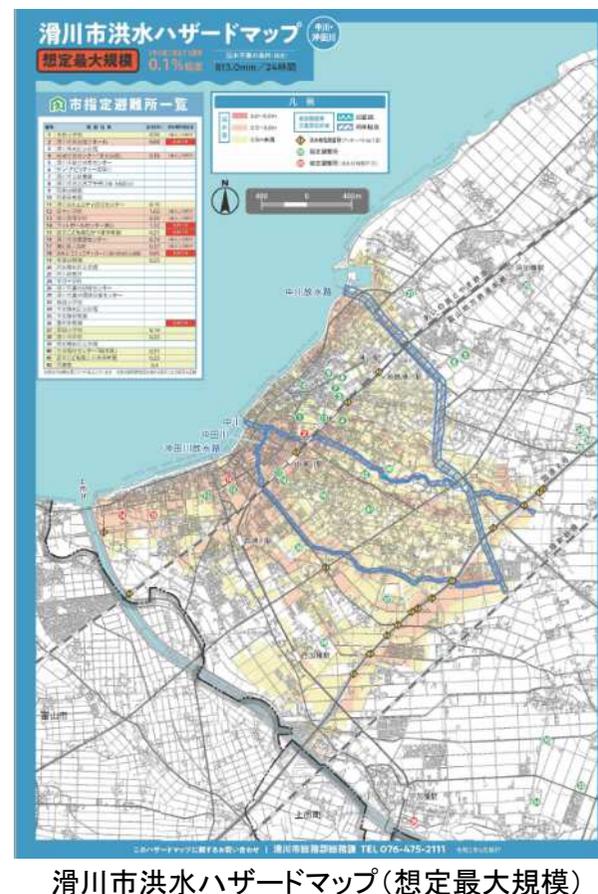


(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、滑川市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	中川(沖田川)流域		

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。

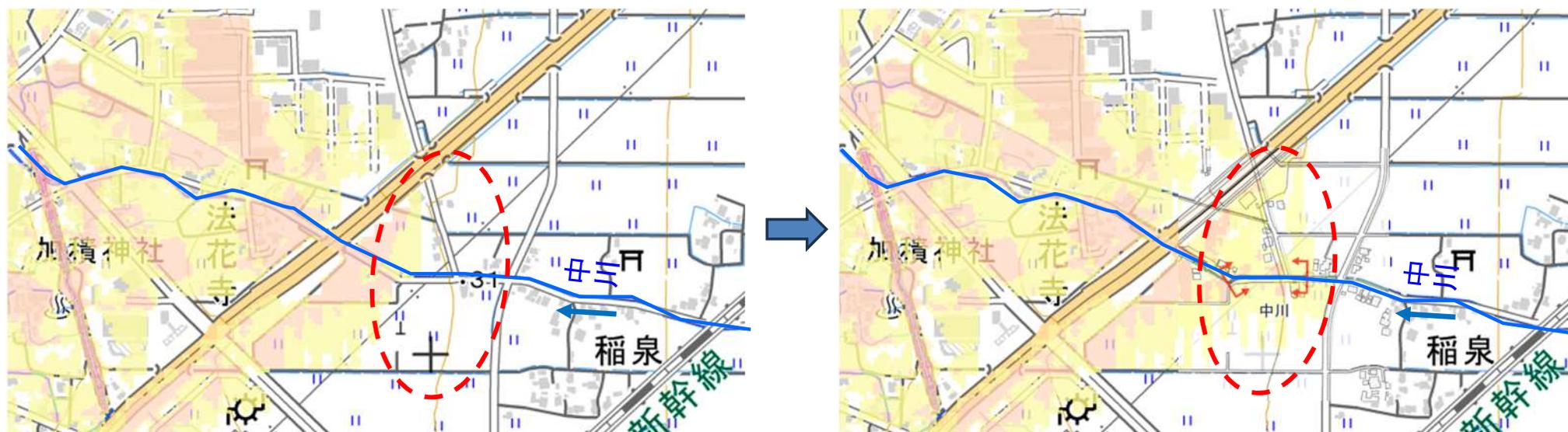


(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、滑川市
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備		
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成		
実施場所	中川		

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。中川の未解析区間について、令和7年度に洪水浸水想定区域図を作成し公表しました。

- 【取組実績】 令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施
令和7年度 洪水浸水想定区域図の公表



例：中川の上流において、新たに洪水浸水想定区域を指定

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】 ・ 配信開始日:令和6年6月～

・ 配信の内容:受け取りたい河川の水位(46観測所)や、ダムの貯水水位(16ダム)が、各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し水位の基準値を超えると



自動的にメールを配信

登録ユーザー



事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(〇〇観測所の〇〇水位)

ダムの貯水水位が上昇し、基準値を超えると



自動的にメールを配信

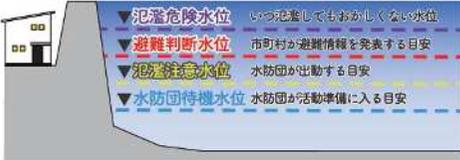
配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

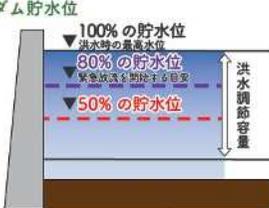
配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4)
	・ 避難判断水位 (レベル3)
	・ 氾濫注意水位 (レベル2)
	・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が ・ 100%の貯水水位 ・ 80%の貯水水位 ・ 50%の貯水水位

【参考】各基準値の内容

河川水位



ダム貯水水位





登録はこちら▶▶▶



以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、富山市、住民
メニュー名	流域治水ワークショップへの参加		
事業・施策の名称	流域治水ワークショップへの参加		
実施場所	ユウタウン総曲輪 ウェストプラザ(富山市)		

【取組概要】

「流域治水」という概念・取組を普及啓発するとともに、地域住民の幅広い年代の方々が、水災害に対するリスクや河川に対する興味・関心を持ってもらうきっかけとなるよう、自治体や研究機関（大学）と連携した流域治水ワークショップに参加している。

■水とくらしは、どうつながってる？みんなの流域じまん

- 開催日：令和7年7月26日(土)
- 場所：ユウタウン総曲輪ウェストプラザ(富山市)
- 主催：一般社団法人流域ふらっとフォーム
- 共催：富山市、富山県立大学
- 後援：富山県、富山河川国道事務所、富山市教育委員会、中部地方環境事務所
- 協力：東京大学、中央大学、福島大学、宮崎大学 他
- 内容：ポスター展示、ブース出展、グラフィックレコーディング、流域治水に関する漫談・コンテスト



富山県出展ブース状況



流域漫談
グラフィックレコーディング

